

問題 (1)

配色技法に関する、次のA～Dの記述について、最も適切なものを、それぞれの①②③④からひとつ選びその番号をマークしなさい。

A ナチュラルハーモニー



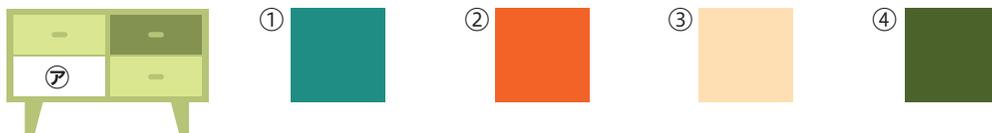
B トーナル配色



C フォカマイユ配色



D 下の図の㊦に入ってトーンオントーン配色になる色



配色イメージに関する、次のE、Fの記述に続く文として、最も適切なものを、それぞれの①②③④からひとつ選びその番号をマークしなさい。

E クリアなイメージの配色にしたいときには、

- ① 無彩色によるハイコントラストの配色に、高彩度の寒色を用いると効果的である。
- ② ホワイト系にグリーン系の暗青色を組みあわせるのがよい。
- ③ トーンはpトーンとltトーンを中心にして、ホワイト系を組みあわせるのが基本となる。
- ④ ベースカラーにYR系のpトーンやltトーン、中彩度の中間色を用いる。

F エレガントなイメージの配色では、

- ① YR系のpトーンとltトーン、および中彩度の中間色の配色が特徴となる。
- ② アソートカラーはベースカラーとコントラストが生まれるように表現する。
- ③ ベースカラーにpトーンやltトーンを使い、パープル系の色相で明度差を抑えた配色にすると効果的である。
- ④ ベースカラーにpトーンやltトーンの赤～橙系の色を使用すると、イメージが表現しやすくなる。

問題 (2)

次のA～Fの記述について、最も適切なものを、それぞれの①②③④からひとつ選びその番号をマークしなさい。

A ファッションカラーについて



図 1

- ① 図1の5色はデザインに関係なく毎年繰り返し登場する色で、この5色がトレンドカラーの代表色と呼ばれる。
- ② 図1の5色に、赤と黄を加えた7色が、一般的にはベーシックカラーの代表色になる。
- ③ 図1はベーシックカラーの代表色であるが、ベーシックカラーも時代によって、トレンドカラーになることがある。
- ④ ベーシックカラーの代表色が図1であるが、この5色以外にベーシックカラーとして加えられる色はないといってよい。

B ファッションのスタイルについて

- ① レトロに分類されるファッションのカラーはくすんだ色調だけに限られるが、取り上げられるスタイルの年代はトレンドによって変わる。
- ② ストリートに分類される代表的なものとして、ボーイズファッションに影響を受けたカジュアルなスタイルがある。
- ③ カジュアルに分類されるファッションでは、カラーはビビッドカラーだけを中心とする。
- ④ 究極の普通と呼ばれるノームコアは、スタイル用語としてはフォーマルに分類される。

C ファッションのイメージについて

- ① スイーツなどのかわいいイメージで使われるbトーンは、ロマンチックの代表的なカラーといえる。
- ② スポーツで多く使われるのはpトーンやltトーンである。
- ③ コントラストのあるバイカラー配色は、ソフィスティケートでよく使われる。
- ④ スパイシーカラーはマニッシュで多く使われるカラーといえる。

D ファッションの配色について

- ① 色相差が大きくても、ナチュラルハーモニーと呼ぶことがある。
- ② 白と黒だけを使ったコーディネートは、モノトーン配色とは呼ばず、バイカラー配色と呼ばれる。
- ③ トーナル配色のコーディネートに、中明度のグレイが入るとコンプレックス配色と見なされる。
- ④ トリコロールといえばドイツ国旗の黒、黄、赤の3色をいい、トリコロールカラーというのが一般的である。

E ファッションのイメージのエレガントで代表的なトーン

- ① bトーン ② vトーン ③ dkトーン ④ ltgトーン

F ファッションのイメージのアーバンで中心となるカラー

- ① ナチュラルカラー ② ベーシックカラー ③ ビビッドカラー ④ トレンドカラー